

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		樋口一彦	所 属		法文学部 総合社会システム学科法学専攻	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	学部においては「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、「基礎国際法」、「憲法概論」、「展開国際法」、「法学演習Ⅰ・Ⅱ」など、大学院人文社会研究科においては「国際法特論」、「国際人権法特論」などを担当する。大学院法務研究科においては、受講学生がおれば、授業を開講する予定である。			0.35	学部においては「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、「基礎国際法」、「憲法概論」、「展開国際法」、「法学演習Ⅰ・Ⅱ」を、大学院人文社会研究科においては「国際法特論」、「国際人権法特論」を担当した。大学院法務研究科においては、受講学生がおらず、授業は開講しなかった。		
研究	0.35	国際人道法の研究を継続する。			0.35	国際人道法の研究を継続した。		
社会貢献	0.00	教育・研究・学内管理運営を行うことよって、「社会貢献」を行う。			0.00	教育・研究・学内管理運営を行うことよって、「社会貢献」を行った。		
管理運営	0.30	副学部長、教育委員会委員、URGCC委員、自己評価委員会副委員長、将来計画委員会副委員長、及び法学専攻における各種入試業務等を行う。			0.30	副学部長、教育委員会委員、URGCC委員、自己評価委員会副委員長、将来計画委員会副委員長、及び法学専攻における各種入試業務等を行った。		
進路指導	0.00	教育活動の中で、適宜、「進路指導」を行う。			0.00	教育活動の中で、適宜、「進路指導」を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		森川 恭剛	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.30	学生の顔をみながら分かりやすい講義を心がける。		0.30	年度目標を達成したと認められる			
研究	0.30	論文を書くほか、外部資金獲得に向けて努力する。		0.30	年度目標を達成したと認められる			
社会貢献	0.05	教育・研究・管理運営の業務により行うほか、市民的運動に参加する。		0.05	年度目標を達成したと認められる			
管理運営	0.30	大学院人文社会科学研究所総合社会システム専攻主任、同実務法学領域主任を務めるほか、2、3の学部内委員を兼務する。		0.30	年度目標を達成したと認められる			
進路指導	0.05	学生の相談にのる。		0.05	年度目標を達成したと認められる			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		越野 泰成	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	1. WebClassなどを使用して例年通り、予習のためのレジュメ配布や復習のためのレポートの提出などを実施して、さらなる単位の実質化を行う。 2. 昨年度の授業アンケートの指摘事項をもとに、授業の改善を心がける。			0.25	1. Web Classを用いて予習のためのレジュメ配布や復習のためのレポートの提出などを例年通り実施して、さらなる単位の実質化を行った。 2. 昨年度の授業アンケートの指摘事項をもとに、教材の改善等を行った。 3. 上記の取組を行い(FD活動)、教育の質の向上につとめた。		
研究	0.30	1. 現在進行中の論文の完成させ、論文の投稿・採用を目指す。 2. 科研費応募をはじめ、外部資金獲得に向けた取組を行う。			0.30	1. 現在、数本の論文を作成中であり、次年度中には論文の投稿・採用を目指す。 2. 科研費応募を行った。		
社会 貢献	0.10	1. 経済法研究会の会員として研究会に参加し、意見の交換等を通し、地域に貢献する。 2. 政策金融評価業務検討委員会委員として、会議に参加し、意見の交換等を通し、地域に貢献する。			0.10	1. 経済法研究会の研究会には、日程の関係で参加できなかった。 2. 政策金融評価業務検討委員会委員として、会議に参加し、意見の交換等を通し、評価書作成に貢献した。		
管理 運営	0.30	1. 大学評価センター長として、評価担当副学長を補佐し、全学的な評価業務を遂行する。 2. 大学評価センター長として、年度計画実行を推進する。			0.30	1. 大学評価センター長として、評価担当副学長を補佐し、全学的な評価業務を遂行に努めた。 2. 大学評価センター長として、年度計画実行の推進に努めた。		
進路 指導	0.05	1. 経済学演習を通し、ゼミ生の履修指導、就職指導を行う。			0.05	1. 経済学演習を通し、ゼミ生の履修指導、就職指導を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		岩橋 培樹	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.50	担当講義は以下の通り。経済数学(夜間)、マクロ経済学、経済学演習 I・II、マクロ経済学特論(大学院)、囲碁の世界(共通教育)、労働経済学。体系的で分かりやすい講義に努め、学生が知識を習得するのみならず、学ぶ意欲を高められるような内容に努める。		0.50	初回講義に、毎回の講義のテーマならびにキーワードを記した予定表を配布し、そのカリキュラムに従う形で講義を進めることができた。受講人数、出席率ともに高いもので、一定水準以上の講義を達成できたものと思う。			
研究	0.50	経済産業研究所(RIETI)の地域研究プロジェクトに加わる形で、以下のテーマに関して研究に従事する。 「沖縄県の国際貨物ハブ化構想に関する経済分析」 研究を推進し、その成果を論文として公刊する。		0.50	RIETIの定例研究会に参加しながら、共同研究者とともに研究、調査を進めた。年度内に成果を論文にまとめることはできなかった。			
社会貢献	0.00			0.00				
管理運営	0.00			0.00				
進路指導	0.00			0.00				
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瀬口浩一	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	ゼミ教育では、県外大学とのディベート大会とゼミ本作成、卒業論文や修士論文の作成を通じて、広い視野から考える力と分析力、忍耐力、協調性が身につくよう指導にあたる。大学・大学院の講義でも、広い視野から柔軟に「考える」楽しさや大切さを感じてもらえるよう指導にあたる。			0.25	ゼミ教育では県外5大学6ゼミとのディベート大会、研究本発行、卒業論文中間・最終報告会の開催を通じ、力は大きく向上した。その結果、納税協会の論文賞や学長賞を受けた。授業評価では内容に関心を持った学生さんも多く、公開授業も「為になった」などのご意見も届き、目標を実現できたと考えている。		
研究	0.35	地方公共サービスの効率性に資する実証研究を引き続き深化させていく予定である。外部の研究者とも連携しつつ、研究会などでの報告を重ねて研究成果を論文として公表する。日本で研究蓄積はこれから、という分野であり、今後の外部資金獲得も見据えて取り組みたい。			0.30	地理的特性などの環境要因と、地方公共サービスの効率性、自治体や自治体病院といった組織の経営効率性との関連について、外部資金も得て研究を行った。その成果を論文として公表したところである。地方税に関する論文も公表しており、目標を達成できたと考えている。		
社会 貢献	0.20	財政の専門家として務める行政などの各種委員会委員の職務や講演、テレビ・ラジオや新聞からの取材対応を通して、研究成果を社会へ還元できるように取り組む。地域への貢献活動として、市民への公開授業も実施し、専門的・客観的な視点や知識が養われるよう取り組んでいく。			0.15	財政学の専門家として、自治体の委員会(委員又は委員長)、新聞社やテレビ局の取材・出演など専門的な助言・発言の機会を得て、研究を社会に還元する機会にも恵まれた。市民への公開授業などを通じて地域社会と接点を持て、積極的な社会貢献ができたと考えている。		
管理 運営	0.10	全学及び学内の各種委員会委員を担当し、入試説明会の実施や入試関連業務などに取り組んでいく。専攻では、オープンキャンパスへの参加を通じて、高校生と接する予定である。また、2年生の経済学専攻指導教員のため、次年度のゼミ決定の説明会の運営などにも取り組む。			0.20	全学の複数委員会委員やプロジェクトメンバーを担当し、入試説明会の実施・参加や学内プロジェクトに関わる業務を携わった。学部内でも入試関連業務などに取り組み、専攻内では2年次指導教員として、新年度から始まるゼミナールの決定に関わる業務や、学生からの様々な相談にも対応した。		
進路 指導	0.10	大学院時代以来の就職活動支援の経験を活かし、今年も12月頃より就職活動支援・指導を行う。全国で通用する人材育成を日頃のゼミ教育でも意識しており、活動期間は、進路の相談、履歴書・エントリーシート添削、面接指導などの指導を行う。推薦書などの作成にも丁寧に応じたい。			0.10	ゼミ生を中心に、相談に来た学生さんも含め、就職活動期間は進路相談、履歴書・エントリーシートの添削、面接指導、内定辞退の際の配慮、内定時必要書類の作成などで、進路指導を十分に実施することができた。ゼミ生は、希望に応じ県内外企業への就職が順調に決まり、十分な指導ができたと考えている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		川平 成雄	所 属		法文学部 総合社会システム学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学生生活の集大成である卒業論文の作成に集中させる。そこで、経済学演習Ⅰにおいては、はじめからテーマを設定させ、論文ならびに文献の収集の仕方を教授する。経済学演習Ⅱにおいては、すでにテーマが決まっているので、資料の収集・分析・論理展開を指導する。		0.30	経済学演習Ⅰは、テーマに沿うかたちで文献・論文の収集と批判的検討、資料の分析をおこなう中で、その成果を発表し、卒業論文の完成に向けて順調な歩みをみせている。経済学演習Ⅱでは、卒業論文を完成させて製本も済んでいる。		
研究	0.30	『ニクソン・ショックと沖縄返還』の刊行に向けて、努力を傾注する。		0.30	タイトルを『沖縄の苦闘 ニクソン・ショックと沖縄返還』に替え、目下、奮闘中である。		
社会 貢献	0.10	『石垣市史 統計編』の編集委員長として、史資料の分析の指導をおこなうとともに、月に1回の割合で20年間継続している『沖縄・八重山文化研究会』への参加・発表ならびに助言、さらには『戦後沖縄住民生活史事典』の刊行を目標に、月2回の研究会を継続しておこなう。		0.10	『石垣市史 統計編』の編集委員長として史資料の分析の指導をおこない、また『沖縄・八重山文化研究会』の幹事として助言を与え、さらには『戦後沖縄住民生活史事典』の刊行に向けて月2回の研究発表会を継続して開催した。		
管理 運営	0.15	島嶼研究領域主任として大学院生との情報を密にする。またエコロジカル・キャンパス推進委員として全学のエコ活動に取り組む。		0.15	島嶼研究領域主任として教員および大学院生との情報を密にし、主任としての責務を果たした。またエコロジカル・キャンパス推進委員として全学のエコ活動に取り組んだ。		
進路 指導	0.15	本人の意思を尊重し、いろいろな選択肢があることをアドバイスする。		0.15	ゼミ生は卒業論文を完成させ、以前にも増して就職活動に積極的に取り組んだ。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		杉田勝弘		所 属		法文学部 総合社会システム学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.40	わかりやすく内容の濃い授業を心がける。				0.40	できるだけ具体例を多くだし、レベルを下げないでわかりやすい授業が出来た。				
研究	0.50	学会誌への投稿、発表をする。学会での報告発表をする。				0.50	まだ論文が仕上がっていないので目標は達成されなかった。				
社会貢献	0.00					0.00					
管理運営	0.00					0.00					
進路指導	0.10	進学指導、就職支援のための具体的な取り組みを行う。				0.10	進学指導や就職指導はよくできたと思う。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		我部政明	所 属		法文学部
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.40	授業の効果を高めるために授業アウトライン・関連資料を事前に配布して、学生の取り組みを促す。シラバスに盛り込まれた計画にもとづく、毎回の授業は、講義全体と個別の授業との関係を確認してもらう。正規学生以外に、留学生や公開授業受講生にも授業を開放して、学生・留学生・社会人への知的貢献を行う。また大学院博士後期課程の学生の指導教員として博士論文指導を進める一方で、研究生の研究論文指導を行う。		0.40	担当したすべての授業において、シラバスに盛り込まれた日程、内容を実施した。公開授業に指定した授業では、5名から10名の参加があり、正規学生と多様な世代との交流が、教室で実現できた。さらに、大学院教育においては、論文指導をすすめて、次年度提出のためステップを完了した。
研究	0.20	日米関係および安全保障に関する研究をすすめ、公表する。世界規模で展開する米軍再編が日本の在日米軍基地(特に在沖米軍基地)へ与える影響と展望についての論文を公表し、今年度中に日米関係に関する著書を出版する。また科研費研究プロジェクトのような外部資金獲得に向けた取組を行う。		0.20	著書の刊行を年度内に行う予定であったが、次年度に延期とした。対中関係だけでなく米国の影響力の世界大規模の過剰(overstretch)により、影響力の減退傾向が、昨年末よりうまれたため、米軍態勢の総合的評価に時間を要しているためである。外部資金を獲得して、国際沖縄研究所において「二つにシナ海をめぐる安全保障」会議を主催して、米国、中国、台湾、韓国、日本、沖縄の研究者に参加してもらい、各国の基本政策の比較研究を進めた。個人の研究として外交文書研究に関する論文を発表した。
社会貢献	0.10	専門的知識を社会へフィードバックするために、自主的な研究グループ・沖縄対外問題研究会の一員として、メディア(新聞、テレビ、雑誌)への執筆を通じて自立した研究者としての社会貢献に努める。また、日本国際政治学会(財団法人)の理事会メンバーとして、年度研究大会の企画運営の責任者として、同学会の活動を支える。		0.10	沖縄における米軍基地に関して、新聞やテレビにおける論考やコメントを発表した。日本国際政治学会の企画・研究の責任者(理事)として、2013年度研究大会(新潟)を開催できた。また2014年度研急大会の企画をたて実施に向けて準備中である。
管理運営	0.20	国際沖縄研究所の併任教員として、同研究所の運営に関わる。研究所の拡充計画を作成し、実施する。また、全学委員会である大学院委員会の法文選出の委員を務め、大学院改改革のワーキンググループに参加し、リーディング大学院の実施にむけて尽力する。さらに、大学院博士後期課程の論文指導教員として、比較地域文化専攻での研究指導に関わる。学部の専攻主任として、専攻の運営に関わる。		0.20	国際沖縄研究所の研究所会議のメンバーとして同研究所の運営に関わった。平成26年度概算要求書作成に関わった(採択されなかった)。人文社会科学部研究科においては、リーディング大学設置の概算要求書作成にん関与し、前期課程政策科学研究領域主任として、管理・運営に関わった。
進路指導	0.10	ゼミの4年次の就職促進、および3年次の就職意識改革に努める。昨年度比で卒業時の就職率向上をめざす。		0.10	就職指導を行い、ゼミ生の意識改革に努めた。その結果、4名の卒業生のうち進学1名、就職3名であった。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	